

# 地域包括支援センターって？

～地域包括支援センターの役割と多頭飼育問題の早期発見～

2021年12月11日（土）19時00分  
（一社）ワンウェルフェア12月講座  
（一社）ワンウェルフェア 中村佳一


# 本日本話しする事

- ▶ 1 地域包括支援センターについて
- ▶ 2 地域包括支援センターの業務と役割について
- ▶ 3 相談から見えるペット飼育の課題と多頭飼育の予防
- ▶ 4 資料
- ▶ 5 まとめ

# 1 地域包括支援センターについて

- ▶ 地域包括支援センターって？
- ▶ 地域包括支援センターは2005年（平成17年）に介護保険法に規定され創設され、以下の事業を行う地域の相談窓口です
- ▶ 全国の市町村に5,221か所設置され、（ブランチ等含め7,335か所令和2年4月末）
- ▶ 東京都台東区には7ヶ所（あさくさ・やなか・みのわ・まつがや・たいとう・くらまえ・ほうらい）あります
- ▶ 市町村により基幹型、委託型、ブランチ（支所）等形態あり、呼称もさまざまです
- ▶ （○×包括支援センター・□△おとしより相談センター等）

# 1 地域包括支援センターについて

- ▶ お近くの地域包括支援センターは以下の通りです。
- ▶ [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi\\_kaigo/kaigo\\_koureisha/chiiki-houkatsu/](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chiiki-houkatsu/)
- ▶  厚生労働省ホームページ参照

# 1 地域包括支援センターについて

- あさくさ      電話：03-3873-8088      (浅草・千束・花川戸)
- やなか      電話：03-3822-1556      (谷中・上野桜木・上野公園  
・池之端)
- みのわ      電話：03-3874-9861      (下谷3丁目・根岸4・5丁目  
・三ノ輪・竜泉・日本堤)
- くらまえ      電話：03-3862-2175      (雷門・駒形・寿・蔵前・  
三筋・小島・鳥越・浅草橋・柳橋)

# 1 地域包括支援センターについて

- まつかや      電話：03-3845-6505      (根岸1・2・3丁目  
・下谷1・2丁目・入谷  
・北上野・松が谷・西浅草)
- たいとう      電話：03-5846-4510      (東上野・上野・元浅草・台東  
・秋葉原)
- ほうらい      電話：03-5824-5626      (今戸・東浅草・清川・橋場)

# 1 地域包括支援センターについて

- ▶ 例えば東京都台東区では以下の通りです。
- ▶ <https://www.city.taito.lg.jp/kenkohukusi/korei/koreishasodan/chiikihokatsujien.html>
- ▶  台東区ホームページ参照

## 2 地域包括支援センターについて

- ▶ 地域包括支援センターって？
- ▶ 地域包括支援センターは地域の高齢者の総合相談、権利擁護や地域の支援体制づくり、介護予防の必要な援助を行い、高齢者の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とし、地域包括ケア実施に向けた中核的な機関として市町村が設置しています
- ▶ 地域包括支援センターの業務は地域包括ケアシステムの構築を目的に①総合相談業務②包括的・継続的ケアマネジメント③介護予防ケアマネジメント④権利擁護業務に加えて生活支援業務等がある
- ▶ 介護保険の代理申請や各市町村の高齢者福祉サービスの申請、虐待通報の窓口業務、見守り活動、地域ネットワーク構築等さまざまな業務を担っている
- ▶ 対象者は原則65歳以上の地域で暮らす高齢者だが、40歳以上の介護保険第2号被保険者の方や、独居高齢者の親族や関係者も含まれる



# 1 地域包括支援センターについて

- ▶ 地域包括支援センターって？
- ▶ 地域包括支援センターについて【別紙参照】  
厚生労働省ホームページ参照
- ▶ 地域包括ケアシステムについて【別紙参照】  
厚生労働省ホームページ参照

# 1 地域包括支援センターについて

日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。65歳以上の人口は、現在3,500万人を超えており、2042年の約3,900万人でピークを迎えますが、その後も、75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想されています。

# 1 地域包括支援センターについて

- ▶ このような状況の中、団塊の世代が75歳以上となる2025年(令和7年)以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。

このため、厚生労働省においては、**2025年(令和7年)**を目途に、**高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の構築を推進**しています。

# 1 地域包括支援センターについて

## 地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。**  
地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要**です。

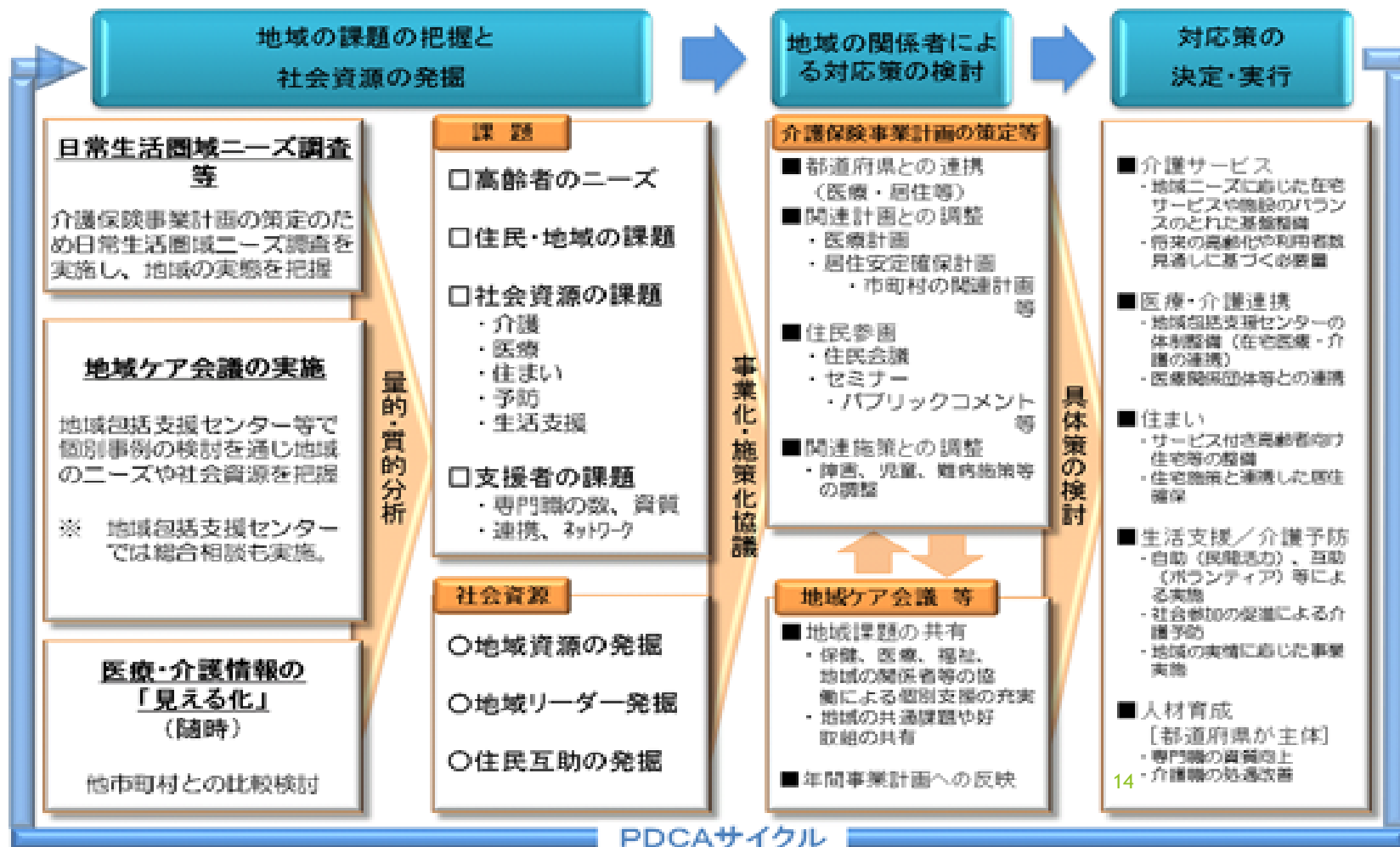


# 1 地域包括支援センターについて



# 1 地域包括支援センターについて

市町村における地域包括ケアシステム構築のプロセス(概念図)





# 1 地域包括支援センターについて



## 2 地域包括支援センターの業務と役割について

### ▶ 主な業務内容

1. 高齢者の日常生活の支援や介護に関するさまざまな相談
2. 心身の状態に合わせた適切なサービスを継続的に提供できるよう支援
3. 介護予防に関する相談や介護予防ケアプランの作成
4. 高齢者の権利を守るための支援（虐待の防止、権利擁護事業等）
5. 介護保険の相談や新規申請
6. 紙おむつ、日常生活用具（シルバーカー・リハビリシューズ・杖  
防水シーツ等）、高齢者すこやか訪問、特別養護老人ホーム等の申請  
受け付け（台東区）



## 2 地域包括支援センターの業務と役割について

- ▶ 自助・互助・共助・公助と地域包括ケアシステム
- ▶ 自助⇒自分の事は自分で、
- ▶ 互助⇒地域社会の維持、家族、親せき、近所の助け合い、ボランティア、友達
- ▶ 共助⇒社会保険制度（介護保険法の理念－国民の共同連帯）保険料の負担
- ▶ 公助⇒税金によるセーフティネットの構築、社会福祉、社会保障、地域づくりコーディネーター

## 2 地域包括支援センターの業務と役割について

### ▶ 地域共生社会に向けた取り組み

地域包括ケアシステムの深化 = 地域共生社会

「地域共生社会」とは、今後日本社会全体で実現しようという社会全体でのイメージやビジョン

「地域包括ケアシステム」とは「地域共生社会」を実現するための「システム」

## 2 地域包括支援センターの業務と役割について

- ▶ 地域ケア会議について
- ▶ 地域包括ケアシステムの体制整備、高齢者個人の支援の充実
- ▶ 自助・公助を活性化しつつ様々なニーズを充実させる社会資源の整備
- ▶ 個別のケースに当てはめて地域ケア会議を開催

## 2 地域包括支援センターの業務と役割について

- ▶ 地域ケア会議の5つの機能
- ▶ 1 個別課題解決機能
- ▶ 2 ネットワーク構築機能
- ▶ 3 地域課題発見機能
- ▶ 4 地域づくり・資源開発機能
- ▶ 5 政策形成機能

## 2 地域包括支援センターの業務と役割について

- ▶ 1 個別課題解決機能
- ▶ 個別ケースについて地域の支援者を含めた多職種協働で多角的に検討し、個別課題の解決を図る
- ▶ 上記のプロセスを通じて地域包括の職員や介護支援専門員の課題可決能力を向上させ、自立支援につながるケアマネジメントの質を高めることができる

## 2 地域包括支援センターの業務と役割について

- ▶ 2ネットワーク構築機能
- ▶ 地域の支援者の相互の連携を強めることができる
- ▶ 課題可決を図る上で関係機関の役割が明らかとなる
- ▶ 同じ目標に向かって協働することで成功体験を得ることができる
- ▶ ケースにより専門職だけでなく、住民参加も促すことで地域住民の関係性が高まる

## 2 地域包括支援センターの業務と役割について

- ▶ 3 地域課題発見機能
- ▶ 個別ケースを通じて内在する課題やニーズや予備軍を明らかにし地域課題の解決や優先度を明らかにできる
- ▶ 明らかになった課題に対し、誰が、いつどのように対応するかを明らかにできる

## 2 地域包括支援センターの業務と役割について

- ▶ 4 地域づくり・資源開発機能
- ▶ 地域見守りネットワークやインフォーマルサービス等必要な社会資源などを地域で開発する
- ▶ 地域包括支援センターの県域を越えて対応するべき事案については市区町村が率先して対応することが重要となる



## 2 地域包括支援センターの業務と役割について

- ▶ 5 政策形成機能
- ▶ 市区町村が中心となって既存の政策や予算では解決できない地域課題については解決に向けた新たな政策立案や実行することが求められる
- ▶ 社会基盤の整備や等について行政計画等に位置付けられている

## 2 地域包括支援センターの業務と役割について

- ▶ 高齢者はこんな事で困っている（1）健康
- ▶ 加齢に伴う疾病「認知症」「脳梗塞」「心疾患」「転倒による骨折」「廃用症候群」
- ▶ 先天的、後天的疾病「精神遅滞（知的障害）」「精神障害」「鬱病」「学習障害」
- ▶ 上記の疾病による二次的障害 例）脳梗塞→認知症→廃用症候群→骨折  
COPD→  
身体機能低下→骨折→認知症

## 2 地域包括支援センターの業務と役割について

- ▶ 高齢者はこんな事で困っている（2）お金
- ▶ 年金
- ▶ 生活費
- ▶ 生活保護

## 2 地域包括支援センターの業務と役割について

- ▶ 高齢者はこんな事で困っている（3）住まい
- ▶ 賃貸・持ち家
- ▶ 片づけられない⇒ゴミ屋敷
- ▶ 悪臭
- ▶ 近隣トラブル

# 3 相談から見えるペット飼育 の課題

- ▶ 高齢者の課題～相談事例から～
- ▶ 人とは関わりたくないが、寄り添いは欲しい
- ▶ 頼りになるのは人より動物
- ▶ やりたくてもできない？
- ▶ 自分自身の事もままならない
- ▶ 地域からの孤立

# 3 相談から見えるペット飼育 の課題

- ▶ 高齢者の課題～相談事例から～
- ▶ 80代女性40代の娘と2人暮らし+15歳以上の雑種犬（♂）
- ▶ 80代女性は独歩で介護保険は未申請。基礎疾患はあるが、医療機関には定期的に罹ってはいない
- ▶ 同居の娘には精神疾患がある
- ▶ 15歳以上の雑種犬（♂）は腎臓病や糖尿病がある
- ▶ 譲渡会で見つけ、家族同様に生活してきた

# 3 相談から見えるペット飼育 の課題

- ▶ 高齢者の課題～相談事例から～
- ▶ 散歩は1日3回近所に行くが、一回3時間以上の時もある
- ▶ 80代女性も一回散歩に行く
- ▶ 食事はサプリ等健康に気を使っているが、食事量も減少してきた
- ▶ 散歩に行っている80代女性、娘も疲れている
- ▶ 担当獣医は通院から訪問診療へ切り替えた
- ▶ ペットホテルや入院に関しては以前嫌な思いもした事から否定的、拒否あり

# 3 相談から見えるペット飼育の課題

- ▶ 高齢者の課題～相談事例から～
- ▶ 娘より電話で「犬を殺してしまうかも」「犬の首を絞めている」と娘の支援者に訴えあり
- ▶ 地域包括支援センターは80代女性の支援者である
- ▶ 不定期に娘より上記の電話がある
- ▶ 関係者間での情報共有は図れているが今後は動物愛護管理、虐待の相談先として、警察への応援も検討
- ▶ 今後も各関係機関との情報共有やまた相談があった際の対応等支援を続ける



# 3 相談から見えるペット飼育 の課題

- ▶ 高齢者の課題～相談事例から～
- ▶ その他、よくある相談としては、高齢者が「猫や犬等ペットがいるから、入院したくない施設に入りたくない」との相談あり
- ▶ 本人は医療的処置が必要な状態であるにも関わらず、入院を拒否している
- ▶ また、ゴミ屋敷問題に加えて、多頭飼育問題も同時に起こっている事例もあり

# 4 資料

- ▶ 厚生労働省ホームページ
- ▶ 台東区ホームページ
- ▶ 地域包括支援センター運営マニュアル2訂  
一般社団法人長寿社会開発センター平成30年6月

# 5 まとめ

- ▶ ペット問題，多頭飼育問題は動物の問題だけでは解決できない
- ▶ 根本にあるのは人、環境の問題
- ▶ 地域包括支援センターは地域の高齢者の相談窓口である事から、さまざまな生活課題を抱えている高齢者をいち早く発見
- ▶ 予防的に対応する事が求められる
- ▶ ペット問題で介入した時にもし怪しい高齢者がいたら包括へ

ご清聴ありがとうございました